

## 今後の栄町地区の公共交通について

## 1 経緯

平成 24 年 2 月から実証運行を開始し、支線交通唯一の定時定路線型バスを運行している。

平成 25 年 9 月と平成 27 年 4 月の運行内容を見直し後も利用状況が改善されなかったため、平成 28 年 2 月からは運行経費(運行日)を削減して運営状況の改善を図ったが、平成 28 年度以降の収支率は微減で推移している。

栄ぐるりんバス運行委員会では実証運行の実績から、現在の定時定路線型バスを見直し、違う形態の公共交通を検討することを決定し、平成 29 年 6 月 1 日開催の地域公共交通活性化協議会で提案し、承認を得たところである。

## 2 現状報告

## (1) 定時定路線型バスの廃止

平成 30 年 2 月末に廃止し、3 月を目標にバスに替わる新たな公共交通に切り替える予定。

## (2) 新たな公共交通の形態

乗合タクシーへ切り替える。

他の支線交通（三ツ石、ひまわり、湯舟）と栄町地区の違い

- 栄町地区内には医療機関、金融機関、商業施設、公共施設等が点在している。
- 栄町地区は広い区域であるために運行経費がかかり、利用者負担が増える可能性が考えられる。
- 自宅から複数の目的地までにすると、回り道をとってしまう。

⇒以下の方法により、運行経費を抑制し、利用者負担を減らす（資料 2-2）

- 幹線とつなぐ目的地のほかに、地区内に一定の目的地を設定する。
- 自宅からではなく、乗降する場所を設定し目的地へ移動する。
- 運行区域を 2 つに分ける。